

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

平成 28 年度 第 4 回理事会 議事録

開催日時：平成 28 年 12 月 16 日（金）18：30～

開催場所：岐臨技事務所

出席者：後藤、早川、兼子、林（博）、高木、松浦、川島、佐々木、乙訓、林（泉）、青木、美濃輪、棚村、市川、帖佐、清水、高崎、柴、森

欠席者：浅野、荒井、舟橋、佐藤、大田

議長：兼子

議事録：高木

高木部長より庶務部からの連絡事項があった。

コスタ岐阜マンション管理組合第 24 期通常総会 11 月 28 日にありました。内容は鳩の飛来対策について北側一面に樹脂ネットバリアを設置する。施工会社は株式会社「雨宮」、施工金額は 808,920 円（税込）。

マンション管理組合の駐車場利用者が減ったため、敷地外駐車場のうち 9 台分を地主に返す。岐臨技も一台分借りています。駐車場の位置が変わります。

新しい駐車場の場所がわかりましたら教えてください。（兼子議長）

日臨技より会費の送金がありました。 1：平成 28 年度「生涯教育推進研修会助成金」・30,000 円。2：会費の送金、平成 28 年度会費 10,000 円×2 名＝（20,000 円）、平成 28 年度入会金 500 円×1 名＝（500 円）送金合計（20,500 円）

平成 29 年度岐臨技実施事業等の予算を提出してください。送信メールに貼付されている各部入力用エクセルシートに記入し会長に返信願います。期限は平成 28 年 12 月 25 日までですのでよろしく願いいたします。

平成 29 年度事業計画書の作成をお願いします。期限は 1 月 13 日の常務理事会までに提出していただき 2 月の理事会で承認をいただく予定です。「学術部・精度管理部・組織調査部・広報宣伝部・渉外部・庶務部」

後藤理事より岐阜地区からの報告があった。

平成 28 年度 第 37 回ぎふ市民健康まつりは日時：平成 28 年 11 月 6 日（日）午前 10 時より午後 3 時 30 分まで。場所は岐阜市文化センター1 階催し広場で開催された。

事前準備は市民健康まつり運営会議（2 回 岐阜市より依頼）、市民健康まつりワーキング会議（2 回 岐阜市より依頼）、打ち合わせ会議（3 回 技師会）行った。

前日会場準備については出席者（10 名）青木 幹根さん、帖佐 光洋理事、武藤 次郎さん、

森 晴雄さん、臼田 直美さん、高木康雄理事、早川 恭江理事、林 博之理事、内藤 斉さん、後藤 浩理事で行った。平成 28 年 11 月 5 日（土）午後 5 時より会場準備を開始。レイアウトを検討し、使用する机や椅子のセッティング、案内用紙の貼り付け等を行なった。消耗備品や器材等の備品については、後藤、高木で岐臨技事務所に午後 4 時に集合し、自家用車にて会場まで搬送した。当日についての駐車場は、井上精機（株）の駐車場ならびに井上精機前のコインパーキングを使用した。スタッフは、午前 9 時に集合。使用機器（尿自動分析装置 US-2200 2 台、加速度脈波計 SPD-100 3 台、超音波診断装置 Xario™200 2 台）の設置を行った。機器は当日搬入した。スタッフの出席確認を行い、参加者 48 名の出席を確認した。（当日急用にて 1 名欠席）全体会合にて兼子会長の挨拶、全体説明の後、担当ごとに分かれ、機器の操作方法、検査手順等について打ち合わせを行った。各部門の責任者は、尿検査は高木理事、血管年齢測定は内藤さん、頸動脈超音波は林理事、総括を後藤理事が行った。午前 10 時に「健康まつり」式典が開催され、兼子会長が出席、式典終了の 10 時 30 分より各コーナーにて検査を開始した。10 時 30 分同会場で「スマートウェルネスぎふ健康ウォーク」開会式があり、岐阜市からの要請もあり兼子会長が参加した。昼食休憩は 11 時 30 分より担当ごとに交代で取った。午後 3 時 30 分の時点でイベントを終了とした。終了後の撤収等について、後片付けはスタッフ全員で行い、使用した消耗備品などについては、高木理事が岐臨技事務所へ搬送した。使用済み尿コップについては、高木理事が回収した。尿自動分析装置 2 台は高木理事が、加速度脈波計 3 台は後藤理事が撤収した。超音波診断装置は東芝が撤収した。（後藤理事）

事後会議は市民健康まつり運営会議およびワーキング会議の合同会議として行った。内容は各検査コーナーの市民の参加人数尿検査 224 名（前年度 220 名）、血管年齢 785 名（前年度 650 名）頸動脈超音波 202 名（前年度 168 名）検査コーナー参加者合計 1,211 名（前年度 1,143 名）「市民健康まつり」市民総来場者数 16,401 名（前年度 14,499 名）「スタンプラリー」参加者・用紙配布 1,800 枚のうち景品引換数 1,003、引換率 55.7%であった。健康まつりの総括として、岐阜市から配布された当日の報告結果の資料ならびに当日の風景写真を別紙にて添付致しました。天候にも恵まれ、健康まつり会場の延べ参加人数は、岐阜市健康部健康増進課からの報告では昨年より約 2,000 名多い 16,401 名とのことでした。今回は、昨年に引き続き尿検査、血管年齢測定、頸動脈超音波を行いました。計 1,211 名と多くの市民の方に参加いただくことができました。尿検査においては昨年とほぼ同数、血管年齢測定・頸動脈超音波は昨年より大幅に増加しました。頸動脈超音波は、整理予約券 120 名を準備し、最大検査数を 160 名としましたが、整理券も直ぐになくなるほどの好評で、午後からはお断りをする方がみえるなど 200 名を超えました。頸動脈超音波の運用手順については次年度の課題とします。今年度も医師会とも連携を図りました。多くの市民の皆さんに各検査コーナーを通して、健康づくりへの意識づけへの手助けと検査技師の業務を知っていただけたのではないかと思います。今回は

岐阜地区の新旧理事ならびにワーキングメンバー1名（岐阜市民病院）で、旧理事のご経験・適切なお助言をいただきながら、企画から当日のイベント運営まで行いました。旧理事から新理事への実践での引き継ぎは、今後に継承されるよいシステムだと思います。当日は48名と過去最多のスタッフの協力の下、チームワークがよく、今後さらに期待が持てる技師会の事業になったと思います。次年度に繋げていきたいと思います。病人・ケガ人などなく、その他特に問題もなく無事終了することができました。参加スタッフをはじめ技師会・事務所の方々のご協力に心より感謝申し上げます。

平成28年度 第37回ぎふ市民健康まつりの決算書については支出が機器リース料フクダ電子より加速度脈波計 SPD-100（¥31,860）振込手数料（¥540）消耗品費ウロペーパーなど香里薬局など（¥14,795）印刷費コピー代、岐阜市公共ホール管理財団（¥400）配送料定形外郵便送料、揖斐川郵便局（¥12）日当（¥90,000）旅費交通費（¥47,200）、食卓費（¥59,510）合計（¥244,425）であった。（後藤理事）

決算書について本理事会で承認を得た。

高木理事より平成29年度、岐阜地区担当・岐臨技活動についての報告があった。

春季拡大研修会・定時総会 合同開催については、日程が平成29年6月4日（日）、場所は岐阜大学病院医学部記念会館2階ホールにて、研修会研究班は血液・輸血が担当でテーマは移植である。學術部に依頼済みである。市民公開講座（未定）。平成29年1月27日（金曜日）の地区総会のあと、打ち合わせ会議を実施します。

第56回岐阜県医学検査学会の日程には平成30年3月18日（日）、場所は未定である。平成29年3月1日にふれあい福寿会館の抽選に行きます。（高木理事）

西濃地区からは松浦理事より大垣市市民健康広場についての報告があった。

開催日は平成28年10月16日（日曜日）、開催場所は大垣城ホール、時間は午前9:30～午後15:00。当日の天候は晴れ、来場者数は1900名。臨床検査コーナーへの来場者数は215名であった。スタッフは加藤康子さん（大垣市民病院）、高木明美さん（大垣市民病院）、臼井信雄さん（大垣徳洲会病院）、清水康之理事（大垣徳洲会病院）、松浦康博理事（メディック）、渡辺愛美さん（メディック）、堀鈴佳さん（メディック）、渋谷和政さん（揖斐厚生病院）、三輪春香さん（揖斐厚生病院）安田祥子さん（海津市医師会）、川島直樹理事（西美濃厚生病院）米川実咲さん（西美濃厚生病院）桑原理恵さん（博愛会病院）、金山好光さん（関ヶ原病院）の14名であった。

今回の市民健康広場では、血管年齢測定や骨密度測定、その結果を用いての生活習慣病予防につながる個別説明をするなどの参加型活動を中心に行いました。また、生活習慣病に関する資料の配布やパネル展示による啓発も行いました。

詳細については血管年齢測定をダイナパルス（フクダ電子）にて行いました。骨密度測定はビーナス（日本光電）にて行いました。生活習慣病の予防については測定結果記入

用紙を用い、結果とそれに記載されている資料を照らし合わせて生活習慣病予防につながる説明をしました。血管・血液検査についてはパネル、リーフレットを用いて説明を行いました。

費用は血管年齢測定がフクダ電子よりダイナパルス 2 台貸+振込手数料 (32,400 円+540 円)、骨密度測定が日本光電よりビーナス 1 台貸出+振込手数料 (22,550 円+324 円)、人件費 1000 円×12 名 (12,000 円)、交通費 14 名 (13,000 円)、食卓費 1000 円×14 名 (13,825 円)、封筒代 200 枚 (1,878 円)、合計 (96,517 円) であった。(松浦理事) 決算書について本理事会で承認を得た。

飛騨地区からは佐々木理事より平成 28 年度 第 27 回高山市市民健康まつりについての報告があった。

開催日は平成 28 年 10 月 2 日 (日)、時間は 10:00~15:00 まで、開催場所は高山市保健センター 1 階、決算内訳は血管年齢測定、フクダ電子よりダイナパルス 2 台 (32,400 円)、骨密度測定、日本光電よりビーナス α 1 台 (22,550 円)、日当 1 人当たり 1,000 円×14 名 (14,000 円)、交通費 14 名 (距離により換算) (6,200 円)、食卓費 (弁当、お茶代) (10,105 円)、振込み手数料 (フクダ電子、日本光電) (864 円)、合計 (86,119 円) フクダ電子及び日本光電の請求書は、直接岐臨技事務所に送付しました。(佐々木理事) 決算書について本理事会で承認を得た。

市川理事より東濃地区からの報告があった。

平成 28 年度秋季拡大研修会についての報告があった。日時は平成 28 年 11 月 13 日 (日) 場所はセラミックパーク MINO 1F 国際会議場 (収容人数 160 名) テーマは『肺炎』、参加人数は日臨技会員 86 名、賛助会員 12 名、一般参加者 11 名、合計 109 名であった。実行委員長は市川 浩良理事 (中津川市民病院)、事務局は棚村 一彦理事 (多治見市民病院)、実務委員は美濃輪 緑理事 (県立多治見病院)、柴 千春理事 (岐阜県産業保健センター)、梶川 裕司さん (中津川市民病院)、久保田 仁志さん (多治見市民病院)、梅本 知佳さん (県立多治見病院)、渡邊 常夫さん (東濃厚生病院)、兼平 昌彦さん (土岐総合病院)、伊藤 三穂さん (私立恵那病院)、原 文明 (坂下病院) スタッフは永田 志代子さん (産業保健センター)、鈴木 重光さん (産業保健センター)、羽柴 隆也さん (産業保健センター)、木村 裕恵さん (東濃厚生病院)、林 佳奈美さん (市立恵那病院)、山本 将毅さん (土岐総合病院)、足立 大起さん (中津川市民病院)、小川 真央さん (中津川市民病院)、可児 あかねさん (県立多治見病院) であった。広告協賛は、(株)井上精機、(株)ビー・エム・エル、(株)デンカ生研、(株)東芝メディカルシステムズ、(株)日本光電であった。演題は臨床微生物部門が『たかが肺炎・されど肺炎ー肺炎ガイドライン耐性菌ー』・東濃厚生病院 副院長 柴田 尚宏先生。染色体・遺伝子部門が『迅速・確実な肺炎診断への挑戦』・江南厚生病院 臨床検査技術科 河内 誠先生であった。ランチョンセミナーは、『カルバ

ペネム耐性に関する基本と世界での状況について』・シスメックス・バイオメリユー株式会社、マーケティング部 関口 幸恵先生。『LAMP法を用いた呼吸器感染症検査～結核、マイコプラズマ肺炎を中心に～』栄研化学株式会社 マーケティング推進室 副島 隆浩先生であった。市民公開講座は『睡眠と健康—ぐっすり眠って認知症予防—』・中部大学 教授 宮崎 総一郎先生であった。(市川理事)

#### 秋季拡大研修会の決算書は

収入の部は広告料(6社) ¥10,000×6 (¥60,000)、研修会参加費(会員86名+賛助会員12名) ¥1,000×98名 (¥98,000)、ランチョンセミナー協賛費(栄研化学・シスメックス) ¥50,000×2社 (¥100,000)、日臨技助成金 (¥50,000)、合計額 (¥308,000)。支出の部は印刷・製本代 (¥117,720)、内訳は垂れ幕 ¥6,600×4 (¥26,400)、横断幕 ¥7,600×1 (¥7,600)、資料集A47カラー 40項 ¥500×150 (¥75,000)、消費税 (¥8,720)。会場費 (¥69,710)、内訳は国際会議場使用料1日 (¥49,000)、延長使用料(準備)1時間 (¥7,640)、空調利用料 ¥660×6 (¥3,960)。備品使用料+その他 (¥9,110)。講師諸謝金(謝礼金+交通費) (¥143,667)、内訳は柴田 尚宏先生 (¥51,230)、河内 誠先生 (¥14,478)、宮崎 総一郎先生 (¥77,959)。食卓費94名分 (¥101,520)、お茶菓子代 (¥5,886)、会議費 (¥41,930)、実務委員 当日・交通費 20名 (¥41,000)、振込手数料 (¥1,944)、収入印紙代 (¥200)、合計額 (¥523,577)。収入-支出は ¥308,000-¥523,577=-¥215,577であった。(市川理事) 収支決算書について本理事会で承認を得た。

美濃輪理事より東濃地区からの報告があった。

第55回岐阜県医学検査学会企画書(学会プログラム)についての報告があった。日時はH29年3月12日(日)9:20~15:50 受付開始は8:45から。会場はセラミックパーク MINO 国際会議場。最大収容人数 300人。住所は岐阜県多治見市東町 4-2-5 TEL 0572-28-3200。参加予定人数は100名。学会日程(内容)は

8:45 受付開始

9:20 開会

9:30 一般演題 午前の部(1~7演題) ※発表6分、質疑応答3分

11:00 教育講演 『○○○○○○』

○○○○病院 ○○○○部長 ○○ ○○ 部長  
座長 ○○○○病院 ○○ ○○

12:20 ランチョンセミナー1 『○○○○○○○○』

富士レビオ株式会社

ランチョンセミナー2 『○○○○○○○○』

○○○○○○株式会社 ○○事業部

13:20 市民公開講座 『○○○○○○○○』

下呂発温泉博物館 名誉館長 古田 靖志 先生  
座長 国民健康保険 坂下病院 原 文明 先生

14:20 一般演題 午後の部 (1~7 演題)

16:00 閉会

16:15 東濃地区定時総会

当日運営委員は16名で岐阜県立多治見病院より3名、中津川市民病院より2名、多治見市民病院より2名、JA東濃厚生病院より2名、土岐市立総合病院より2名、国保坂下病院より2名、市立恵那病院より2名、岐阜県産業保健センターより1名を予定している。

実行委員は学会長 松井 明男先生(岐阜県立多治見病院)、実行委員長 美濃輪 縁理事(岐阜県立多治見病院)、実行委員 可児 あかねさん(岐阜県立多治見病院)、久保田 仁志さん(多治見市民病院)、兼平 昌彦さん(土岐市立総合病院)、上村 まどかさん(土岐市立総合病院)、渡辺 常夫さん(JA東濃厚生病院)、武藤 延秋さん(JA東濃厚生病院)、伊藤 三穂さん(市立恵那病院)、林 佳菜美さん(市立恵那病院)、原 文明さん(国保坂下病院)、林 裕介さん(国保坂下病院)、梶川 裕司さん(中津川市民病院)、事務局 棚村 一彦理事(多治見市民病院)、市川 浩良理事(中津川市民病院)、柴 千春理事(岐阜県産業保健センター)である。(美濃輪理事)

予算は収入が参加費1,000円×100名(100,000円)。広告掲載代10,000円×8社見込み(80,000円)。協賛費(100,000円)合計額(280,000円)支出が会場費(70,000円)(暖房設備含む)、消耗品費(2,000円)、印刷関連(300,000円)(横断幕含む)、講師料(65,000円)、食卓費(1,080円×110個)(118,800円)、旅費交通費(8,000円)、日当(16,000円)支出合計額(579,800円)。収支額(-299,800円)である。(美濃輪理事)  
予算案については本理事会で承認を得た。

市民公開講座は講師が下呂発温泉博物館名誉館長 古田 靖志先生、講演テーマは温泉学の最前線「温泉を100倍楽しむためのとっておきのお話」である。古田先生にポスターを依頼した。平成28年12月の定期便で古田先生に講演依頼を郵送する。講演時間は古田先生の公演時間(13:20~14:20)とした。

広告協賛は現在の所、(株)タウンズ営業部、栄研化学 名古屋営業所、フクダライフテック中部(株)土岐営業所の3社である。演題受付状況は①足立 大起さん(総合病院中津川市民病院) *Aerococcus urinae* による敗血症の一例(微生物) ②関谷 怜子さん(岐阜県立多治見病院) *Staphylococcus aureus* のペニシリン感性率と、ペニシリナーゼ産生について(微生物)、③伊藤 大樹さん(岐阜県立下呂温泉病院) 当院における共用基準値採用に向けての基礎的検討(臨床化学)、④井筒 萌香さん(大垣市民病院) Gitter 染色において分別条件が染色性に与える影響(病理) ⑤高崎 昭彦さん(岐阜医療科学大学) プロテオミクス解析手法を用いた微生物迅速同定の基礎的検討(微生物)の5例である。学術部に依頼したところ合計8症例の登録となった。(美濃輪理事)

12月5日(月)18:00~県学会打ち合わせ会議を多治見市民病院で開催した。出席

者は棚村 一彦理事（多治見市民病院）、市川 浩良理事（中津川市民病院）、柴 千春理事（岐阜県産業保健センター）、美濃輪 縁理事（県立多治見病院）、12月5日現在8題である。最低10題、最大14題を考えていたため、2～6題不足している状況である。演題追加募集をします。追加演題登録機関は平成28年12月20日～平成28年12月28日12:00まで。抄録受付期間は12月1日～平成29年1月23日とする。（美濃輪理事）

ランチョンセミナーの進捗状況は2題の予定のうち登録依頼が1題（富士レビオ）確定。広告協賛進捗状況は最大10社の協賛予定。現在3社（タウンズ、栄研化学、フクダライフテック）申し込み有。実行委員の役割分担は総合司会：永田先生（産業保健センター）、柴先生（産業保健センター）の2名。冊子編集は市川先生（中津川市民病院）、印刷依頼、弁当手配は柴先生（産業保健センター）、協賛依頼は柴先生、市川先生、美濃輪先生（県立多治見病院）棚村先生（多治見市民病院）が担当する。依頼文章・ポスター校正は美濃輪先生が担当。市民公開講座の市長村広報は各市町村実行委員が担当。市民公開講座のセラミックパークへの広報は市川先生が担当する。セラミックパークの施設設備確認を予定は、日時未定である。次回岐臨技理事会にて教育公演の人選と演題再募集の進捗状況を確認する。（美濃輪理事）

帖佐部長より学術部からの報告があった。

平成28年度・第2回部門長会議が12月14日に開催された。議題は

1. 秋季拡大研修会・県学会の進捗状況についての報告について。5演題しか集まっておらず各部門（生理：2、血液：1、輸血：1、一般：1、生化：1、病理：1）以上の協力をお願いしたい。生理部門長から大垣市民から1例、他施設から1例は出せそうであるとの返事をいただいた。血液も1例出せそうである。
2. 今年度における活動報告、来年度予算作成について近藤先生より説明があった。日臨技学術奨励賞・特別奨励賞の該当者についてあれば岐臨技事務所に報告してください。岐阜県臨床検査技師会会誌について論文投稿のお願い（平成29年1月13日期限）
3. 平成29年度春季拡大研修会・今後の担当については血液・輸血部門が来年度6月4日担当（会場：岐阜大学医学部記念会館）、メインテーマは「移植」で血液・輸血班が担当。講師は岐阜市民病院の笠原先生と岐阜大学の北川先生に講演を依頼した。飛騨地区担当の秋季研修会は生理と検査総合で承認された。
4. 県学会の教育講演の枠について、最近認定技師を取られた会員3名、各15分程度で内容は（認定の内容と取得までの過程）を予定。血液・微生物・病理部門からの認定技師の講演が取れました。
5. 日臨技総会の座長推薦依頼がありました。血液・一般・微生物・生理で1枠ずつ依頼があり学術部がまとめて日臨技にFAXを送ることとした。
6. 副部門長変更願いについて、変更届の用紙に記入し2月までに提出していただくよ

うお願いした。

7. 学術部のフローチャートを作成いたしました。

8. 新人サポート研修会について

日程は5月・6月頃を予定。場所は岐阜医療科学大学。土曜日は仕事がある施設がまだあるため日曜日に行く予定。但し警備費はかかる。内容に採血・血液ガスの講義を加えることとなった。

9. 日臨技助成金の入力方法についての注意点を説明した。

10. 各案内文の日本糖尿病療養指導士の単位数の注意点について説明した。(帖佐部長)

清水部長より組織調査部からの報告があった。

平成28年度HIV啓蒙活動については、開催日が平成28年11月19日(土曜日)。会場は岐阜経済大学。報告内容として、例年、岐阜県保健所と合同で行う岐阜経済大学の学園祭でのHIV啓蒙活動に岐臨技として参加しました。会員2人1組となり、構内の若者に我が国のエイズは未だ減少していない現状やHIV感染の予防法などを説明しました。併せて関連リーフレットやコンドーム、HIV感染予防のカードの入ったティッシュを配布しました。会員7名の協力がいただけました。昨年度は参加いたしませんでしたが、多くの学園祭に来られた方に配布することができ、当初の目的である「青少年への予防啓発活動」は十分果たせたと思います。事業費は関連グッズ(コンドーム1箱、冊子)送料(2,160円)コンドーム1箱、ティッシュ(1,188円)、袋詰め用ビニール袋(540円)配布用飲料水(14,256円)、日当及び交通費(12,100円)公益事業費支出合計(30,244円)であった。

HIV啓蒙活動の事業費について本理事会で承認を得た。

活用内容について、目的として、まずは、エイズについて興味を持ってもらうことが大切で、我が国のエイズ患者は未だ減少していない現状や、感染の予防法を含めた、HIVに関する基礎知識を知ってもらう。対象者は大学祭に来場した青年層。配布方法は2人1組で、予防啓発グッズ(コンドーム、関連パンフレット)を配布しながら話をする。配布実績(配布資材名、配布部数)は財団から提供してもらったコンドーム250個、パンフレット250冊を配布、また保健所から提供してもらった小物(ボールペン)岐阜県臨床検査技師会から提供したロゴ入りポケットティッシュと飲料水を配布した。啓発の成果は、来場者の多くの若者と話をする、エイズに対して正しい知識を持っていない若者が多いことを実感し、危機感をおぼえた。感染予防についての基礎知識が乏しい。今後の課題は、気軽に検査を受けられる環境づくりや、感染防御の危機感を周知させる必要がある。(清水部長)

清水部長より全国検査と健康展についての報告があった。

開催日時は平成28年11月20日(日)9時~17時。開催場所はアルプラザ鶴見。事業内容は検査技師の仕事紹介(超音波機器や顕微鏡を用いて体験、パネルやリーフレットに



よる説明)。医師による健康相談（アンケート用紙利用）。健康チェック（機器を用いて測定）。実務委員は36名。来場者数概数は420名であった。実施内容として、実施検査項目①超音波で体の中を見てみよう（頸動脈エコー）（150名）、②顕微鏡で見てみよう（口腔内細胞観察）（100名）、③疑似尿による尿検査（模擬尿を用いての尿試験紙検査）（150名）、④パネル展示（メタボとは・輸血と血液型・仕事紹介・学校紹介など）、⑤手洗いチェック（ブラックライトを用いて洗い残しチェック）（150名）、⑥検査医による健康相談（62名）、⑦健康チェック（血管年齢・骨密度）（350名・270名）、⑧ストレスチェック（唾液を用いたストレスチェック）（200名）であった。総括としては、各部門による検査の実際の仕事紹介は趣向が凝らしてあり、興味を引かれるものであった。来場者に丁寧に説明し、多くの市民と対話できたことが良かった。会場が少し手狭だったので、もう少しスペースの余裕があれば更なる来場者が見込まれたが、多くの来場者があった。効果として、来場者には検査技師の仕事には興味をもってもらうことができたと思われる。また、説明を加えることにより、実際に自分が受けたことがある検査がどんなものか知ってもらえた。若い世代の来場者（中～高校生）の来場者が少なく、将来検査技師を希望する世代に魅力を伝えられなかった。来場者には健康への意識高揚の手伝いができたと思われる。決算書については収入が、運営費（日臨技助成金）（500,000円）合計（500,000円）。支出が会場費（27,000円）、設備・備品費（290,877円）内訳（パネル（32枚）、机（16台）、椅子（65脚）、機器リース（血管年齢2台、骨密度1台）、唾液アミラーゼ測定チップ、コード、カウンター、カーテン）、印刷費（900円）、人件費（講師料）（前日：事前準備4名当日：実務担当36名）（40,000円）旅費・宿泊費（前日：事前準備4名、当日：実務担当36名）（76,820円）、消耗品費（7,762円）（内訳は手袋、シールはがし、養生テープ、フック、両面テープ、ペーパータオル）、振込手数料（4,000円）雑費（診療所開設申請費用）（18,000円）合計（465,359円）であった。（清水部長）

平成28年度検査と健康展の決算書について本理事会で承認を得た。

また日臨技には次のように報告したい。岐阜県臨床検査技師会では、今回のイベントを通して、一般市民に対し健康に関する意識向上のお手伝いと、臨床検査の仕事に興味をもっていただくことを目的としました。来場者数は420名を超えたいへん盛況でした。当技師会の全ての学術部門が協力して企画したおかげで、どのブースもたくさんの市民で賑わいました。エコー検査ではどんな見え方がしているのか。ヒトの口腔粘膜細胞を顕微鏡で観察すると何がわかるのかなど、市民の皆様実際に体験してもらい、臨床検査技師とはどんな仕事なのか、少なからずとも知っていただけたと思います。ストレスチェック、血管年齢測定、骨密度測定、及び健康相談コーナーは特に人気が高かったようです。市民の皆様の健康への関心の高さが伺えました。また直接お話しをすることで臨床検査が社会に大きく貢献していることも実感できました。

一方で若い世代、特に学生の来場が非常に少なく、検査技師の魅力を十分に伝達できたとは言えませんでした。会場設営や広報、開催時期など検討課題はたくさんありますが、

来年にいかせればよいと思います。今後は何らかの講演、チーム医療の中の検査技師の係りも企画内容に加えるなどしてより魅力的なイベントにしていきたいです。参加者はフロアスタッフ 12 名。部門担当者 24 名であった。(清水部長)

清水部長より組織調査部からの提案があった。

今まで検査と健康展は西濃地区を中心に 2 回開催していました。今後各地区持ち回りで開催していきたい。(清水部長)

岐阜医療科学大学では 11 月末頃に関市でいきいきフェスタが開催されそこで健康チェックを行っています。会場が関市の大きな体育館を使用していますので会場として余裕があると思いますので一度検査と健康展を実施していいか訪ねてみます。(高崎理事)

よろしく願いいたします。今後理事会で持ちまわり地区を検討していきたいと思います。(兼子議長)

検査と健康展は健康チェックも行っていないとなかなか来場者が集まらないのが現状です。本来は検査技師の業務を紹介することが重要であります。今後ともよろしく願いいたします。(兼子議長)

高崎部長より広報宣伝部からの報告があった。

平成 29 年 1 月の会報誌 (第 4 号) は年頭のあいさつを入れます。次号タイムスケジュールについては投稿願いが 12 月 16 日 (金) に依頼、原稿締め切りが 1 月 10 日 (火) の予定、内容確認・校正が 1 月 13 日 (金) の予定、発送が 1 月 20 日の予定である。

平成 28 年度第 4 号については①年始の挨拶を兼子会長に、②中部圏支部学会の報告を学術部より学会で発表された方か、座長をされた方でだれか紹介していただきたいと思えます。③部門研修会は森先生 (松波・輸血)、石田先生 (岐大・生物化学) より原稿をいただきました。④各部門からの投稿記事は臨床血液部門の新川先生 (大垣市民)、池井戸先生 (土岐総合に依頼済みである。⑤施設紹介は西濃地区 (清水先生)、東濃地区 (棚村先生) にお願ひしました。⑥その他については投稿したい記事があればご連絡ください。(高崎部長)

乙訓部長より会計部からの報告があった。

9 月の経常収益は精度管理参加費 (34,000 円)、広告料 (122,000 円) 学会研修会助成金 (272,000 円) 等があがっており経常収益計 (1,307,522 円) であった。10 月の経常収益では (103,000 円)、広告料 (118,000 円) 等があがっており経常収益計 (408,413 円) であった。経常費用では 9 月が試料代 (488,754 円)、印刷費 (25,920 円) 等があがっており経常費用計 (1,226,173 円) であった。10 月の経常費用では印刷費 (97,988 円) 試料代 (39,870 円) 等があがっており経常費用計が (980,173 円) であった。9 月の経常増減額は (81,379 円)、10 月の経常増減額は (-571,760 円) であった。(乙訓部長)

会計監査は 11 月 14 日に終了しました。牛丸会計士と太田監事、森監事が参加して行い

ました。牛丸会計士より備品台帳、資産台帳を作るように指摘を受けました。(兼子議長)  
その他

次年度の事業計画について、3年間続いた検査説明・相談会が今年度で終了となりましたが、次年度はどのようにいたしましょうか。(森監事)

日臨技は今後、薬理・栄養・看護を中心とした研修会を進めて行くようですが、詳細は決まっていないようです。(兼子議長)

タイトルはすぐには決められないと思いますのでとりあえず研修会等を何回実施するかを報告していただければいいと思います。(帖佐理事)

議長 兼子 徹 

議事録署名人 森 さゆり 

議事録署名人 太田 義和 

